

地域密着型金融の取組状況

平成25年度上期

目次

地域密着型金融の取組状況	頁
<u>I. 地域密着型金融の取組態勢等</u>	- 1 -
地域密着型金融の基本的な取組姿勢	- 2 -
地域における経済の活性化に向けての態勢	- 3 -
<u>II. 地域密着型金融の主な取組事例</u>	- 4 -
地域密着型金融の取組内容	- 5 -
1－①創業または新事業の開拓に対する支援の取り組み	- 6 -
1－②経営相談・支援機能の強化の取り組み	- 8 -
1－③経営改善・事業再生の取り組み	- 10 -
2－①地域活性化への取り組み	- 11 -
<u>III. 取組実績一覧</u>	- 13 -
平成25年度上期 取組実績一覧	- 14 -

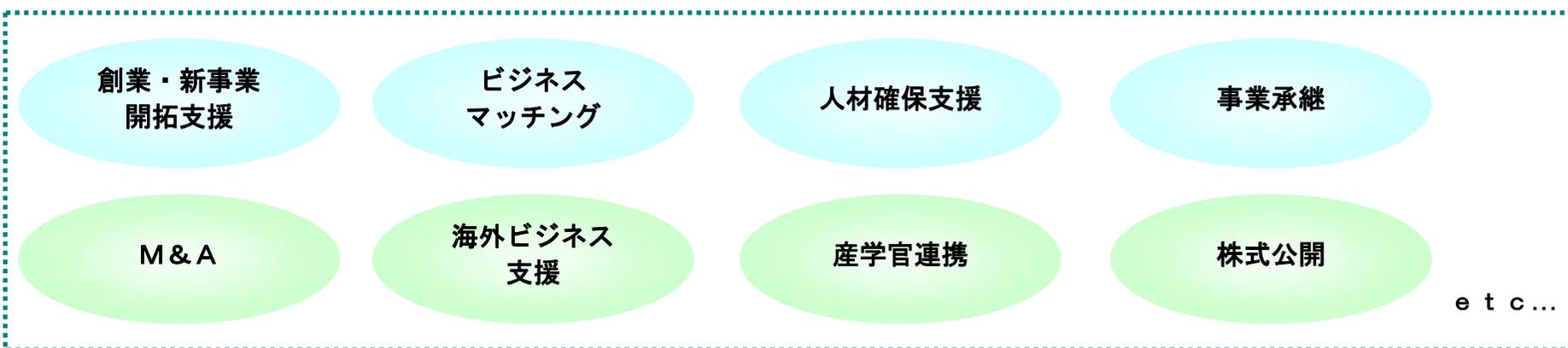
I . 地域密着型金融の取組態勢等

地域密着型金融の基本的な取組姿勢

地域のお客さまとのリレーションシップを強化し、地域金融の一層の円滑化に資するとともに、産（地域企業等）・学（大学等）・官（地公体等）とも連携し、地域経済の発展に取り組めます。

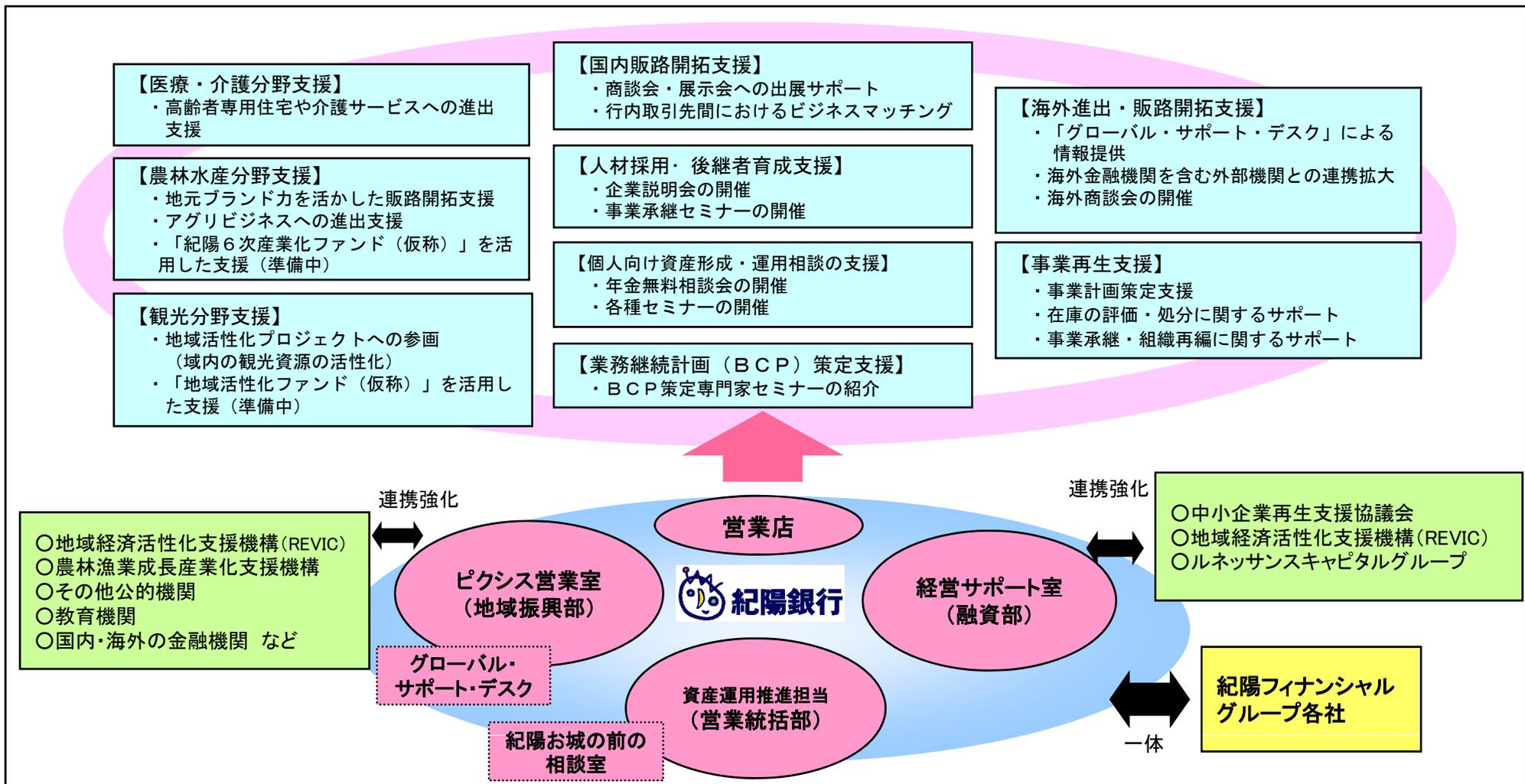
1. お取引先企業の良き相談相手となることを目指します。（コンサルティング機能の発揮）
2. 地域経済の発展・活性化へ積極的に参画いたします。
3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信を行います。

上記の取組姿勢については、紀陽銀行が目指す銀行像である「お客さまから選ばれ続ける銀行」の1つの柱として位置づけております。



地域における経済の活性化に向けての態勢

紀陽銀行・紀陽フィナンシャルグループ各社だけでなく、各種公的機関や教育機関とも連携することで、地域のお客様に対して、より充実したサービスを提供してまいります。



Ⅱ. 地域密着型金融の主な取組事例

地域密着型金融の取組内容

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮における活動

①創業または新事業の開拓に対する支援

産学官とのネットワークや外部機関と連携し、新事業進出支援・成長支援を始め、各種連携事業を展開し、地域の中小企業のお客様のサポート体制を築いております。

②経営相談・支援機能の強化

営業支援、M&A、海外進出、株式公開等お取引先からの様々なご相談について、営業店ならびに本部において、外部提携先も活用しながらご対応しております。また、お取引先の経営改善にかかるご相談につきましてもご対応しております。

③経営改善・事業再生

地域金融機関である紀陽銀行の健全性・収益性は、地域の経済状況と密接に関わっており、お取引先の経営改善支援や事業再生支援に関する取り組みについて、積極的に活動を行っております。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

①地域活性化への取り組み

地方公共団体等と連携したプロジェクトの取り組みやファンド組成の検討を行っております。

②企業連合体の組成によるニュービジネス創造、成長企業支援等

地元企業等と連携した新たな地域ブランドの確立等に取り組んでおります。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

①会社説明会の継続的な開催

地域密着型金融の取組状況などについて説明し、地元地域における当行の取り組みを紹介しております。

②情報発信のための刊行物発刊

情報発信の手段として、ディスクロージャー・ミニディスクロージャー誌に加えて、グループ全体のCSR活動や営業店独自の取り組み等を紹介する「CSRレポート」を発刊しております。

③経営情報の公表

各界の有識者である委員方をお招きし、半年に一度経営諮問委員会を開催し、当行の地元地域に対する取組姿勢などに対して提言を頂き、対応状況についても都度報告を行っております。議事内容および施策への反映状況については、ホームページにおいて公表し、経営に対する客観性の確保に努めております。

1-①創業または新事業の開拓に対する支援

新規事業開拓支援の取り組み



■ 公的補助金活用説明会

～公的支援策活用説明会について～

地方公共団体や商工会議所等と連携し、当行営業エリアのお取引先に対し、公的支援策活用説明会を実施しています。「新事業・新製品の開発に対する支援策」「販路開拓支援制度」などの公的支援策や地方公共団体が持つ企業支援機能を紹介し、お取引先のニーズにあった支援策の活用をご提案しております。

- 当行はお取引先の新事業支援等に向け、新事業の公的補助金制度や販路開拓の支援策等について、和歌山県、大阪府、堺市等と連携し、公的支援策活用説明会を開催しております。
- 平成25年4月に開催された公的支援策活用説明会において、和歌山会場には34社、大阪会場には41社が参加されました。
- 平成25年3月より公募された「ものづくり中小企業・小規模事業者試作、開発等支援補助金」については、当行は認定支援機関として、1次、2次公募合計で、193先を支援し、うち88件が採択されました。また、「創業支援補助金」については、13件を支援し、うち9件が採択されております。
- 当行は地域の創業・新事業開拓支援を積極的に行い、新しいビジネスモデルの構築の提案も行っております。

～取り組み事例～

介護施設を運営していた取引先A社は、要介護者の旅行に対するニーズに応えるため、トラベルヘルパー事業への新規参入を検討しておりました。本事業は一般的にあまり認知されていない事業であるため、同社より今後の事業展開について当行にご相談がありました。当行はお取引先の中で旅行会社を連携先としてご紹介し、併せて、大阪府、大阪観光局、近畿運輸局等の担当部署をご紹介しました。同社は連携先や紹介先の情報をもとに今後の事業開拓に向けて積極的に取り組んでいます。

1-①創業または新事業の開拓に対する支援

新商品の販路開拓支援の取り組み



- 当行では、商談会やお取引先同士のビジネスマッチング等を通じてお取引先の販路開拓支援を行っております。
- 地方銀行が共催する「地方銀行フードセレクション」や「わかやま産品商談会 in 和歌山」、「ものづくりマッチング商談会 in 堺」等の商談会をお取引先に紹介し、商談の場を提供しております。
- その他、大阪府の「B2Bネットワーク」や全国銀行協会の「e-ビジネスマーケット」などのネットワークを活用し、各商品に最適な販路開拓支援を行っております。

～取り組み事例～

和歌山県や大阪府南部において、食品製造業を営むお取引先A社は、飲食店も数カ店運営する等積極的に事業展開をしており、新たな事業戦略として大阪府下での更なる躍進と商品のブランド力強化を検討していました。

当行は、A社の販路開拓支援のため、ハラール認証（※）を得た新商品の開発を提案し、併せて、ハラール認証取得研修を受講していたお取引先Bの紹介を行いました。

現在、A社はお取引先Bのサポートのもとで、ハラール認証取得に向けハラール協会を通じて問題点の洗い出しを具体的に行っています。今後、ハラール認証取得によるイスラム圏向け新商品の開発が進めば、A社商品への信用が高まり、新たな販路拡大が期待されます。

※ハラール認証：イスラム教の戒律（豚肉やアルコールの摂取を禁ずる等）に従って製造されたことを証明するもの



■地方銀行フードセレクション（上、下）

1-②経営相談・支援機能の強化

経営課題解決に向けた取り組み



■事業承継セミナー



■合同企業説明会

- 当行はお取引先の経営課題解決に向けた成長支援、効率化、内部管理体制の強化支援を積極的に行っております。
- 具体的には、当行のピクシス営業室を中心とし、外部機関と連携しながら、円滑な事業承継を支援する「事業承継セミナー」や、M&Aの取組提案、人材確保を支援目的とした和歌山大学や近畿大学等における「合同企業説明会」の開催、医療介護分野における経営支援、お取引先のBCP(事業継続計画)の策定支援等を行っております。

～取り組み事例～

<経営資源の選択と集中支援の取り組み>

当行は介護施設を経営するお取引先A社の「経営資源を介護福祉事業に集中させたい」というニーズを受け、介護福祉業界の業界調査やセミナー等の情報提供を行ったほか、介護福祉業界に精通しているコンサルティング会社の紹介を行いました。

その結果、A社は現状分析を目的にコンサルティング会社と契約を締結し、今後の戦略を検討しております。

<内部管理体制強化支援の取り組み>

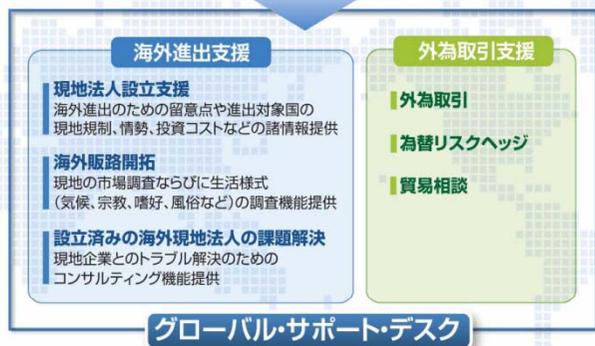
お取引先B社は、衣料品通信販売における独自サービスが評価され、急成長していましたが、人員が急増し、同社の実態に相応しい人事・労務管理システムの構築が必須となっていました。

課題解決のため、当行より同分野に精通する社会保険労務士を紹介し、顧問契約締結に至りました。また、当行はシステム技術者の確保についても外部提携先である人材派遣会社を通じて支援しています。

1－②経営相談・支援機能の強化

海外ビジネス活動の支援

海外進出を検討されている企業
外国為替取引のニーズのある企業



- 海外進出支援や外為取引等お客さまの海外ビジネス活動のサポート態勢を強化することを目的として、ピクシス営業室内に「グローバル・サポート・デスク」を設置しております。
- 平成25年9月末時点で、公的機関23先、民間70先以上の外部機関チャネルを構築しております。現地コンサルティング業者のネットワークや、当行のベトナム派遣研修生からの情報を活用し、現地法人設立支援や海外生産委託、海外商談会等さまざまな対応ができる態勢を構築しています。
- 海外での事業展開を検討されているお客様を対象に、6月に「アジアビジネス個別相談会」を開催し、海外展開を積極的にサポートするために、海外の事業展開に関するさまざまな問題点について、ご相談を承りました。10月からは海外進出のニーズによりお応えできるよう、「海外ビジネス個別相談会」を定期的（2ヶ月に1回）に開催してまいります。
- また、海外における販路開拓支援のため、9月にはお取引先に対し、地域金融機関等が共催する「日中ものづくり商談会@上海」を紹介し、5社にご参加いただきました。



■ 日中ものづくり商談会

～取り組み事例～

経済成長が顕著で建設ラッシュが進むベトナムへの早期進出を検討していたお取引先A社（リサイクル業）に対し、A社の現地法人設立のため、現地法人の許認可の手続きや現地当局との調整等のサポートを行う現地コンサルティング会社を紹介しました。また、当行は現地法人設立までの進捗管理、A社に対する設立資金の融資、現地法人への送金等を行いました。その結果、A社は円滑に現地法人を設立することができました。

1 — ③経営改善・事業再生

外部機関との連携等を活かした経営改善・事業再生支援



■経営改善・事業再生支援態勢図

～中小企業金融円滑化法期限到来後の対応方針について～

中小企業金融円滑化法の期限到来後においても、当行の金融円滑化に向けた基本方針は変わりません。お客さまからの経営課題や、資金繰り等のご相談に対しては、ご要望を真摯にお伺いし、丁寧な対応に努めてまいりますので、どうぞお気軽にお取引の本支店へご相談下さい。

- ▶ 当行はお取引先の経営改善支援や事業再生支援に関する取り組みを重要課題の一つに位置づけ、これまでの取り組みを通じて蓄積されたノウハウを活かし、積極的に活動を行っております。
- ▶ 当行ではお取引先の財務内容改善に向けたサポートを行う経営サポート室を設置しており、営業店や外部機関と連携して、雇用や商流の維持・拡大など地域経済の発展・活性化に貢献できる態勢をとっております。

<平成25年度上期の経営改善支援状況>

- ・ 経営改善計画策定状況 1,637先
- ・ 中小企業再生支援協議会への相談持込総数 20先

～取り組み事例～

お取引先のA社（織物業）は、売上減少に加え、価格競争の激化により、構造的な赤字体質の状態にありました。

この様な状況のもと、当行はメイン行として積極的に経営改善に向けた働きかけを行い、A社に対し平成24年1月に経営コンサルタントを導入し、中小企業再生支援協議会関与のもと金融支援を伴う抜本的な再生計画の策定に着手しました。策定された計画に基づき、当行がA社に対しDDS（※）を行ったことにより、財務面・収益面が共に改善し、加えて運転資金の新規融資を行ったことで同社の資金繰りが安定し、事業の継続性をより確実なものとすることができました。

※DDS（資本金性借入金）：Debt Debt Swapの略。金融機関が既存の貸出債権を一般債権よりも返済順位の低い「劣後ローン」に振り替える手法

2-①地域活性化への取り組み

観光分野の振興に向けた取り組み



■紀伊山地の霊場と参詣道



■九度山町の地域振興交流施設（イメージ図）

- ▶ 和歌山県の観光産業については、平成26年に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録10周年を迎え、また平成27年には「紀の国わかやま国体」や「高野山開創1200年」をひかえ、多くの来訪者が期待できることから、幅広いエリアや業種への経済波及効果が期待されます。当行は地方公共団体や民間のパートナーとの連携を図りつつ、具体的な観光支援策（観光客数の増加に向けた対策や情報発信等）の検討に着手しております。

～取り組み事例～

＜地域活性化ファンドの組成について＞

観光振興の一環として、当行は地域経済活性化支援機構（REVIC）の「地域活性化ファンド」スキームを活用すべく、REVICとファンド組成に向けた協議を行っております。同ファンドにおいては、地域の観光事業者等の皆様に対して出資等の資金面だけでなく、事業戦略、マーケティング、専門家紹介等の人的支援を積極的に行い、継続的な成長を促していく方針です。現在、ピクシス営業室や和歌山事業部が営業店と連携しながら、情報収集や事業化案件の発掘に努めております。

＜九度山町（和歌山県）との連携について＞

当行、九度山町及び和歌山大学は、平成25年8月に、九度山町の地域経済活性化のため包括的な連携協定を締結いたしました。本協定に基づき、九度山町が建設する「地域振興交流施設」を核に、地元観光の拠点、地域製品の販売、住民生活支援を兼ねた新ビジネスモデルと雇用の創出に協働して取り組んでまいります。

2-①地域活性化への取り組み

6次産業化や地域ブランド確立に向けた取り組み



■ 6次産業化セミナー

- 当行では、地域の農林水産分野の成長を支援し、関連する産業を連携して分野活性化のため様々な取り組みを行っております。
- 平成25年4月に、「6次産業化セミナー」を開催したところ、総勢176名の方に参加頂き、その後の個別相談会で投資候補となる有望な事業が数件確認できました。今後、商品開発の方向性、販路開拓等事業化における課題について支援してまいります。
- 平成26年1月に株式会社農林漁業成長産業化支援機構と連携した「紀陽6次産業化ファンド」を設立する予定であり、具体的な案件の発掘及び事業化の支援を行っております。

※6次産業化とは…第1次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を活かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むこと



■高野山からの贈りものプロジェクト

- 当行と総本山金剛峯寺は、平成24年8月に協力協定書を締結し、「高野山からの贈りもの」プロジェクトを開始いたしました。当行と総本山金剛峯寺は、「高野山開創1200年記念事業」を契機として、厳選された高野山周辺や和歌山県内の企業による地域産材・技術を用いた食品、雑貨、工芸品などを地域ブランドとして確立し、全国に発信していきます。平成25年9月末時点で、11社16品の商品が完成しており、新商品は高野山内の小売店や百貨店の地域産品売場、通販等で順次販売していきます。

Ⅲ. 取組実績一覧

平成25年度上期 取組実績一覧（1）

項目	具体的な取組内容	実績
1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮における活動		
①創業または新事業開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公的支援策と連携した新事業開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス資源活用支援 ■ 公的補助金制度活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山商工観光労働部と連携 ・堺商工会議所と連携 ・各種補助金申請件数 ■ 営業店と本部が連携した新事業創出 <ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援融資 ・新事業創出支援件数 ■ 販路開拓支援（商談会等） <ul style="list-style-type: none"> ・「地方銀行フードセレクション2013」への参画 ・和歌山県産品商談会in和歌山 ・ものづくりマッチング商談会in堺 ・ビジネスマッチング取組状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年11月より国の委託事業「地域調和型エネルギーシステム構築検討事業」に事務局として参画（現在協議会に1県、7市町、9民間企業、10団体、1大学が参画） ・34社参加（平成25年4月） ・41社参加（平成25年4月） ・206件申請、うち97件採択 ・26先、合計約9億円を融資 ・145先 ・20社出展、即日3件成約、継続商談252件（平成25年10月） ・72社参加（平成25年9月） ・3社参加（平成25年7月） ・相談件数1,283件、うち467件成約 ※上記のうちピクシス営業室対応 相談件数163件、うち15件成約

平成25年度上期 取組実績一覧（2）

項目	具体的な取組内容	実績
②経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■海外販路開拓(グローバル・サポート・デスク) <ul style="list-style-type: none"> ・日中ものづくり商談会@上海2013 ・アジアビジネス個別相談会 ・海外進出支援の取り組み ・海外金融機関等との業務提携 ■人材確保支援 <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山大学での外国人留学生対象「学内個別企業説明会」 ・和歌山大学での合同企業説明会 ・近畿大学生物理工学部での合同企業説明会 ・中途採用支援 ■事業継承セミナー等による情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・「長寿企業に繋がる戦略的事業承継」 ・事業承継等の相談状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・5社参加(平成25年9月) ・2社参加(平成25年6月) ・支援取組先数48件 ・提携先数(平成25年9月末) 民間70先、公的機関23先 ・メトロポリタン銀行(フィリピン)と提携開始 (平成25年7月) ・4社参加、留学生55名面談(平成25年4月) ・35社参加、学生47名参加(平成25年6月) ・7社参加、95名面談(平成25年6月) ・11社対応、うち1社採用 ・65名参加(和歌山) (平成25年10月) ・相談受付件数55件

平成25年度上期 取組実績一覧（3）

項目	具体的な取組内容	実績
②経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■医療・介護分野への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ○ピクシス営業室の医療チームによる活動成果 <ul style="list-style-type: none"> ・医業承継・M&A ・新規開業（診療所新設） ・介護施設新設 ・融資取り組み ・その他（経営相談、財務改善、業者紹介ほか） ・合計 ○外部専門機関との案件検討会 ■その他の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）策定支援（紀陽リース・キャピタル㈱との連携） ・M&A支援 ■新たな融資手法の活用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ABL（動産・売掛金担保融資）の取り組み ・電子記録債権を活用した資金供給 	<ul style="list-style-type: none"> ・14件 ・44件 ・28件 ・8件 ・18件 ・112件 ・4回開催 ・相談件数6件、うち4件契約（紀陽リース・キャピタル㈱への直接相談を含む） ・3件成約 ・8件 ・14件
③経営改善・事業再生	<ul style="list-style-type: none"> ■外部機関等の活用による経営改善・事業再生支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会との連携先 ・DDS（資本金借入金）の取り組み ■経営改善計画策定先 	<ul style="list-style-type: none"> ・20社 ・2件 ・1,637先

平成25年度上期 取組実績一覧（4）

項目	具体的な取組内容	実績
2. 地域の面的再生への積極的な参画		
①地域活性化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■産業人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・大学、高専等で当行役職員が講義を実施 ・地域の高校生に対する金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」の実施 ■「6次産業化」推進に向けた取り組み ■地方公共団体等と連携した地域活性化に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山大学で「和歌山企業トップ経営論」について当行役員が講義（平成25年10月） ・「大人大学」の開催（平成25年9月） ・平成25年5月より開始、これまで5校、10クラス、321人が参加（平成25年11月時点） ・6次産業化セミナー開催（平成25年4月） ・九度山町（和歌山県）、和歌山大学と連携協力に関する協定書を締結（平成25年8月）
②企業連合体の組成による ニュービジネス創造、成長企業支援等	<ul style="list-style-type: none"> ■地域ブランドの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・高野山金剛峯寺と協力協定書締結 （平成24年8月） ・「高野山からの贈りもの」プロジェクトを開始 11社16品の商品が完成（平成25年9月）
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信		
①会社説明会の継続的な開催	<ul style="list-style-type: none"> ■地元株主向け説明会、個人投資家向け説明会 <ul style="list-style-type: none"> ・地元株主向け説明会 ・個人投資家向け説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市、田辺市、堺市で開催（平成25年7月） ・和歌山市、堺市で開催（平成25年7、8月）
②情報発信のための刊行物発刊	<ul style="list-style-type: none"> ■ディスクロージャー誌 ■CSRレポート2013 （CSR・・・社会的責任） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年7月に発刊 ・平成25年10月に発刊
③経営情報の公表	<ul style="list-style-type: none"> ■経営諮問委員会（アドバイザリーボード）の運営、議事内容をHPで公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回経営諮問委員会を開催（平成25年6月）